



TOKYO WOMEN'S MEDICAL UNIVERSITY

Department of Critical Care and Emergency Medicine

新宿から  
世界へ。

「自己完結型」の  
救急医を、  
ここから。

ERからICU、そして退院まで。

急性期医療のすべてを担う、

プロフェッショナルな医師を育成します。

東京女子医科大学 救命救急センター

Department of Critical Care and Emergency Medicine

後期研修医 募集 →

# 当医局の特色

## 日本型救急 (自己完結型) の実践

当センターは三次救急に対応しつつ、ICUと一般病床を合わせて約30床を管理しています。**診断・集中治療・手術・緊急IVR・入院管理**から**退院後フォローアップ**までを一貫してセンター内で完結できる体制を整えています。

「救急搬送された患者様を、退院まで責任を持って診る」。急性期医療の最初から最後までを担うことで、救急医として必要な能力を総合的に磨くことができます。

救急初療

根本治療(手術/IVR)

集中治療(ICU)

病棟管理・リハビリ

## 大学病院ならではの 「深さ」と「広さ」

大学病院には、市中病院ではみられない希少疾患や複雑な背景をもつ患者様が数多く来院されます。

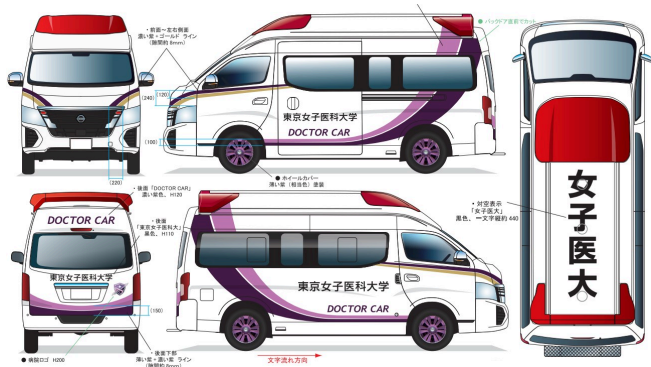
**心臓外科術後の重症管理**や**希少血液疾患の急変対応**、高度な判断力を要する合併症症例など。これらへの対応を通じ、単なる救急処置の手順にとどまらない、医学的深みのある知識と判断力を養うことができます。

救命救急センター

AMBULANCE

東京消防庁

2340



導入予定車両デザイン

## 新宿エリア初。 医師が現場へ駆けつける。

東京女子医科大学病院救命救急センターは、2026年度よりドクターカーの運用を開始します。日本最大の人口過密エリアであり、多様な救急需要が渦巻く「新宿」というフィールドにおいて、現場からの救命に挑みます。



### 半径3km圏内をカバー

日中人口の多い新宿駅周辺を含むエリアへ、至近距離から医師を派遣。1分1秒を争う都市型救急の現場で、早期医療介入を実現します。



### プレホスピタルからインホスピタルへ

自ら現場で接触した患者様をセンターへ搬入し、緊急手術やICU管理まで「自己完結型」で担当。病院前診療から根本治療まで一貫して関わります。

# 災害医療・DMAT活動



**日本DMAT・東京DMAT 両チームを運用**

地域を守り、被災地を支える。  
2つの「DMAT」を持つ強み。

## 日本DMAT (広域派遣)

厚生労働省管轄の広域派遣チーム。地震などの国規模の災害時、被災地へ集結し医療支援を行います。

## 東京DMAT (地域密着)

東京都独自の地域密着型チーム。都内の事故現場などで東京消防庁と連携し、現場での早期救命処置を担います。

## 📍 広域災害支援 (能登半島地震)

2024年1月の能登半島地震では、日本DMATとして石川県珠洲市へ派遣。甚大な被害を受けた現地で医療体制維持に尽力しました。

## 🏙️ 都市型災害への出動

2025年度は東京DMATとして、近隣の災害や事故現場へ計6回の出動実績があります。



## DMAT隊員を目指すあなたへ

講習会への参加から資格維持活動まで、医局を挙げてバックアップします。

# 専門医・研修体制

## 「救急 + 集中治療 + α」を目指す



## 充実した施設連携・ローテーション

### 大学・センター・公的病院

- 東京女子医大附属足立医療センター
- 東京女子医大附属八千代医療センター
- 埼玉医科大学国際医療センター
- 国立病院機構災害医療センター
- 静岡赤十字病院
- 東京科学大学病院
- 日本医科大学病院
- 横浜市立みなと赤十字病院

### 地域中核病院・その他

- 亀田総合病院
- 相澤病院
- 埼玉県済生会加須病院
- 静岡県立総合病院
- 戸田中央総合病院

## 万全の教育・指導体制

### 🏠 屋根瓦式の指導体制

初期研修医、専攻医、スタッフ、指導医が層をなして診療にあたる「屋根瓦式」を採用。日常診療のフィードバックはもちろん、精神面でのサポートも万全です。

### 💓 シミュレーション教育

BLS, ACLS, ICLSなどの救急初期診療コースや、気管挿管、外傷診療の実技指導を定期的に行います。指導者としてのスキルアップも支援します。

# アカデミック・留学

## 🌐 世界基準の「外傷・外科系救急」



Westchester Medical Center  
New York Medical College



Montefiore New Rochelle  
Hospital

特に外傷外科・外科系救急を目指す方には、海外臨床留学を強く推奨しています。センター長自身の米国Level Iトラウマセンターでの指導医経験を活かし、**USMLE取得から留学先の斡旋、ECFMG certificate取得支援**まで全面的にバックアップします。

### 主な留学・研修先実績



**Westchester Medical Center**  
USA, New York



**University of Graz**  
Austria



**Oregon Health & Science Univ.**  
USA, Oregon



**Montefiore New Rochelle**  
USA, New York



**Indiana University**  
USA, Indiana



**National Yang Ming Chiao Tung**  
Taiwan



医工融合研究施設「TWIns」

## 基礎研究・学位取得

### 🧑‍🔬 医工連携による最先端研究

早稲田大学との医工融合研究拠点「TWIns」を活用し、臨床の疑問を基礎研究で解明するトランスレーショナルリサーチが可能です。

### 📄 学位取得と論文指導

大学院進学を全面的にサポート。国内外での学会発表や英語論文投稿を丁寧に指導し、Academic Surgeonとしてのキャリア形成を支援します。

# ライフプラン・環境

## 🌱 ライフイベントを支える医局運営

東京女子医科大学の理念である「至誠と愛」のもと、性別を問わず、医師としてのキャリアと家庭生活を両立できる環境作りに力を注いでいます。多くの医師が子育てをしながらキャリアを重ね、臨床・教育・研究のバランスの取れた医師人生を送っています。

### 👩 女性医師の活躍

出産・育児を経てもキャリアを中断することなく、専門医や指導医を取得できるよう柔軟にサポートします。

### 👨 男性の育児参加

男性医師の育児参加や育休取得も重要視。「お互い様」の精神でカバーし合う風土があります。

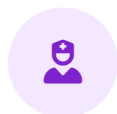
## キャリアモデル（若手・中堅）



### E先生（男性・医師4年目）

専攻医 外科研修中 趣味充実

後期研修2年目。救急科専門医PGに沿って、現在は外科手術手技を集中的に研修中。



### F先生（女性・医師8年目）

専門医取得 大学院生 留学準備

専門医を取得し大学院へ。基礎研究を行いながら臨床にも従事。将来は海外留学を計画中。



### G先生（男性・医師11年目）

ダブルボード 育休取得経験 共働き

第1子誕生時に3ヶ月の育休を取得。復帰後はチームのサポートを得て臨床・教育に励んでいます。

# 募集要項・お問い合わせ

## 共に未来の救急を創る仲間へ

当センターでは、熱意ある後期研修医（専攻医）を募集しています。  
見学は随時受け付けています。まずは一度、新宿の現場の雰囲気を感じに来てください。



### 募集要項

募集対象	医師免許取得後2年の初期臨床研修修了見込みの方
採用人数	若干名
研修期間	3年間（救急科専門医プログラム）
待遇	本学規定による

### お問い合わせ・見学申し込み

東京女子医科大学病院 救命救急センター 医局

〒162-8666 東京都新宿区河田町8-1

☎ 03-3353-8111（代表） ✉ dem.ag@twmu.ac.jp



WEBサイト